

オバマ大統領、2014年度予算教書で研究開発費を2012年度比1.3%増額（4月10日）

オバマ大統領は4月10日、2014年度大統領予算教書を議会に提出した。大統領は、科学分野に対する連邦支援を徐々に回復させる方針で、2014年度の研究開発費を、基礎研究費332億ドルを含む1,430億ドルとしており、これは2012年度歳出額と比較して1.3%増となる。さらに大統領は、経済成長のために連邦政府が重点的に投資する必要がある領域の一つに研究を挙げており、科学研究関連連邦機関では国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）に313億ドル（2012年度比1.5%増）、米国科学財団（National Science Foundation：NSF）に76億ドル（同8.4%増）、エネルギー省科学局（Department of Energy's Office of Science）に50億ドル（同6%増）、米国標準技術局（National Institute of Standards and Technology：NIST）に9億2,800万ドル（同23%増）が計上されている。また大統領は、重点を置く科学研究分野に、①クリーンエネルギー技術、②先端製造、③バイオ技術、④新素材の4分野を新たに追加することも予算教書内で明らかにしている

The Chronicle, Obama Budget Seeks to Slowly Rebuild Spending on Scientific Research

<http://chronicle.com/article/article-content/138469/>